

# 病床機能別の集計結果の概要

(単位:床)

構想区域	医療機能	令和3年 (2021年) (7月1日現在)	令和4年 (2022年) (7月1日現在)	※ 【参考】		【参考】
		病床機能報告 (最大使用病床数) A	病床機能報告 (最大使用病床数) B	増減 B-A	平成37年 (2025年) 地域医療構想 における 必要病床数 C	
中北	高度急性期	800	736	△ 64	403	
	急性期	1,663	1,753	90	1,353	
	回復期	759	777	18	1,227	
	慢性期	1,396	1,312	△ 84	1,161	
	計	4,618	4,578	△ 40	4,144	
峡東	高度急性期	87	0	△ 87	48	
	急性期	412	503	91	279	
	回復期	848	876	28	978	
	慢性期	368	363	△ 5	419	
	計	1,715	1,742	27	1,724	
峡南	高度急性期	0	0	0	0	
	急性期	275	251	△ 24	78	
	回復期	38	35	△ 3	102	
	慢性期	137	136	△ 1	83	
	計	450	422	△ 28	263	
富士・東部	高度急性期	14	14	0	84	
	急性期	642	611	△ 31	318	
	回復期	236	179	△ 57	259	
	慢性期	82	81	△ 1	117	
	計	974	885	△ 89	778	
総計	高度急性期	901	750	△ 151	535	
	急性期	2,992	3,118	126	2,028	
	回復期	1,881	1,867	△ 14	2,566	
	慢性期	1,983	1,892	△ 91	1,780	
	計	7,757	7,627	△ 130	6,909	

> 医療機能を未選択の病床は含まず。

※ 時点の異なる病床機能報告の数値については、以下の点から、単純に比較すべき性質のものではないと考えられるため、「増減」は「参考」扱いとする。

- ・ 医療機能の区分の基準は定性的なものであり、あくまでも医療機関の自主的な判断によるものであること。